


【件名】	浜離宮恩賜庭園石積修復工事（03）	【事務所名】	東部公園緑地事務所	
【工事場所】	東京都中央区浜離宮庭園地内	【受注者名】	株式会社富士植木	
【工期】	令和3年11月15日から令和4年5月31日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 荻野 浩文	

【工事概要】

本工事は、国指定特別名勝及び特別史跡である浜離宮恩賜庭園の外周部石積について、孕み等により崩落の危険性がある箇所を修復を行うものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

- ・ 伝統工法も用いた難易度の高い工事であったが満足いく仕上がりであった
- ・ 工事現場の景観配慮等、来園者や文化財への配慮が十分になされていた



施工前

施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

江戸時代に施工された4分勾配の空石積と、大正期に施工された3分勾配の練石積の接合点が本工事の施工箇所であった。工法が異なる二つの石積の品質管理に苦労した。

◇ 特に工夫した点

練石積の復元は浜離宮庭園では初めての試みであったため、過去のデータがなかった。そのため、撤去時から復元を意識して石積の一段毎のデータ収集に尽力した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

石積を解体することで伝統工法の知恵や技術を垣間見ることができ、先人の石積への思いが感じられた。文化財の工事に携われることにやりがいを覚えた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

自分が施工に携わった構造物が後世に残っていくことは感慨深いです。自分がした仕事が目に見える形で残ることが建設業の醍醐味だと思っています。



空石積（手前）と練石積（奥）